



宮島水族館(みやじマリン) (広島県)

第62期  
中間期 株主通信

平成23年4月1日 ▶ 平成23年9月30日

その先の向こうへ

GOING FURTHER

 五洋建設株式会社

証券コード：1893

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

ここに平成23年4月1日から平成23年9月30日までの平成23年度（第62期）第2四半期の事業概況ならびに今後の見通しにつきましてご報告申し上げます。



代表取締役社長

**村重 芳雄**

### Q 経営環境について お聞かせください。

A 平成23年度第2四半期の日本経済は、東日本大震災の影響により厳しい状況ではありますが、サプライチェーンの立て直しによる生産の持ち直しなど景況感に改善の兆しが見えてきました。

建設業界においては、補正予算による東日本大震災の復旧・復興にむけた政府建設投資の動きが見え始めました。また、住宅投資は、全体的には低水準で推移しましたが、首都圏のマンション販売に回復の動きが出てきました。民間設備投資は、生産の持ち直しによる回復への期待がありますが、円高や欧州債務問題などによる海外景気への懸念が広がっています。一方、海外は当社グループの主要市場であるシンガポール、香港において、社会インフラ整備を中心に建設需要が堅調でした。

### Q 第2四半期の連結業績について お聞かせください。

A 売上高は、海外工事は減少しましたが、国内工事の増加により、前年同期比1.6%増加し1,452億円となりました。営業利益は、売上総利益率の改善や一般管理費の減少などにより46億円（前年同期28億円）となりました。また、営業利益の増加および営業外収支の改善により、経常利益は40億円（前年同期15億円）、四半期純利益は9億円（前年同期6億円）となりました。

## Q 今後の見通しについて お聞かせください。

A 国内では、民間需要については、住宅関係は首都圏を中心に回復基調で推移すると見込まれます。また、企業の設備投資は回復基調ではありますが、先行きは円高や欧州債務問題の懸念などから不透明な状況が続くと見込まれます。一方、公共事業については、第3次補正予算による震災復興の本格化や留保されていた公共事業費の執行解除など地方自治体においても経済活動の動きが活発化することが期待されます。また、平成24年度予算の編成では「震災復興」や「成長戦略」などに重点を置く政府の姿勢が示されており、厳しい財政ながらも国際戦略港湾や遠隔離島など、当社グループの強みを活かせる主要プロジェクトは確保される見通しです。

シンガポール、香港など東南アジアでは、高い成長に支えられ、インフラ整備や医療・教育施設の建設などが、引き続き堅調に行われる見通しです。

このような経営環境の中、当社グループは建設業の使命として大震災の復旧・復興に貢献することはもとより、「臨海部ナンバーワン企業」として一層成長するために、平成23年度を初年度とする中期経営計画(2011~2013年度)の達成に取り組んでいます。

平成23年度の連結業績見通しは、売上高3,290億円(当初予想3,270億円)、営業利益95億円、経常利益79億円(当初予想74億円)、当期純利益21億円であり、平成23年5月に発表した予想を修正しました。

個別の建設受注高につきましては、当初予想と同じく国内土木1,100億円、国内建築1,100億円、海外800億円、建設受注高合計3,000億円を予定しています。

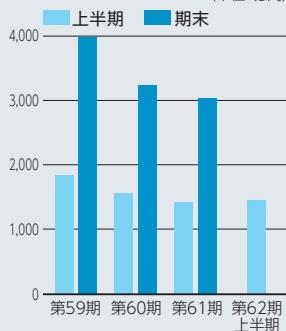
また、平成23年度の配当につきましては、1株当たり2円を予定しており、目標達成に向けて、引き続き役員全社一丸となって取り組んでまいります。

企業価値を高め、発展する企業グループを目指してまいりますので、株主の皆様におかれましては、これまで以上のご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

### 【連結業績の推移】

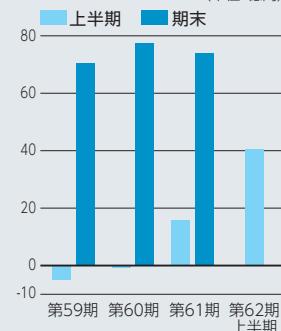
#### ◎売上高

(単位:億円)



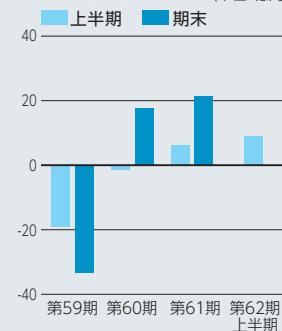
#### ◎経常利益

(単位:億円)



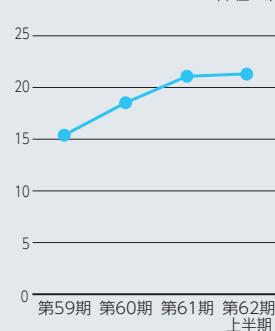
#### ◎四半期(当期)純利益

(単位:億円)



#### ◎自己資本比率

(単位:%)



## 土木部門◆東日本大震災 復旧・復興への取組み

当社グループの東日本大震災復興への取組みを紹介します。大地震発生後、直ちに「大規模災害対策本部」を本社と東北支店（仙台市）に設置しました。初期の活動は、社団法人日本埋立浚渫協会の一員として、被災地港湾に技術者と作業船団を派遣し、港湾機能の回復、海上の緊急輸送路を確保するため港内の航路・泊地の啓開作業（海中障害物回収）を実施しました。

また、津波によって、陸上に打ち上げられた漁船の回収作業では、5隻の漁船（重さ約400t～600t）を大型運搬車に積込み、そのまま岸壁近くまで運搬、クレーンで吊降しました。無事着水した漁船は、ドックで修理の後、8月よりサンマ漁で活躍しています。

今後も、当社グループは建設業としての使命を果たすべく、被災地の復旧・復興に向けて、全力で取り組んでまいります。

### ■港内啓開作業（海中障害物回収）



コンテナ回収状況



トレーラー回収状況



乗用車回収状況

### ■漁船回収作業



作業開始前



積込作業



吊降作業

## 建築部門◆宮島水族館(みやじマリン)完成

宮島水族館は、日本三景、世界文化遺産「厳島神社」の近くに、バリアフリーなどの社会ニーズに応じた新たな水族館として、2011年8月にオープンしました。

当水族館は景観に配慮した和風建築の水族館で、コンセプトは「ふれあい」と「いやし」です。館内には、瀬戸内海の生き物との「ふれあい」を体験できる広場が設けられています。また、全体レイアウトや照明の照度の工夫により、来館者が静かな時を過ごせる「いやし」の空間が演出されています。

当水族館は、当社を代表企業とするSPC（特別目的会社）が維持管理・運営業務にも携わるPFI事業です。

今後も、運営方針である『魅力的で楽しくてまた来たくなる、他に類を見ない水族館』となるよう取組んでまいります。

### ■全景



### ■明るい空間に広がる瀬戸内海特有の展示



【ふれあいの磯】

瀬戸内海の磯の生き物とのふれあい広場

【山から海へ】

宮島の水辺に広がる里山の自然を再現

### ■静かな空間に浮かびあがる水槽



【いやしの海】

多様な海洋生物を楽しめる水槽



【海めぐみ】

広島特有のカキいかだを水槽で再現



【海の神秘】

タチウオなど夜行性、発光性の生き物の水槽

## 国際部門 ◆ 2大拠点 主要大型工事

### ■ シンガポールエリア

2011年度上期、シンガポールで大型地下鉄工事、隣国マレーシアのジョホール州で大型埋立浚渫工事を受注しました。このほか、シンガポールエリアでは、ジュロン・チュアス埋立拡張工事、パシルパンジャン港湾開発工事、ノベナ病院建設工事などの大型手持工事を施工しています。

当社のシンガポールでの歴史は古く、これまで大型埋立工事をはじめ数多くの実績を積んできました。

今後も、豊富な経験、定着したブランドを武器に、安定した海外の拠点として事業量の確保に取り組んでまいります。

#### シンガポールエリア手持工事マップ ●土木工事 ●建築工事



#### 【2011年度上期受注工事】 地下鉄933工区(MRTダウンタウンライン)

- 駅舎部：駅舎構築延長 262m
- 路線部：シールド延長 4,500m
- 工期：2011年8月～2016年12月

#### 【2011年度上期受注工事】 ジョホール埋立浚渫工事

- 浚渫土量：9,790,000m<sup>3</sup>
- 埋立土量：7,540,000m<sup>3</sup>
- 工期：2011年9月～2013年3月

#### ジュロン・チュアス埋立拡張工事 2013年6月竣工予定



#### パシルパンジャン港湾開発工事 2013年4月竣工予定



#### ノベナ病院建設工事 2012年4月竣工予定



## ■香港エリア

2011年度上期、香港エリアでは、国際郵便センター、香港証券取引所データセンターの2件の大型建築工事を受注しました。中でも、香港証券取引所データセンターは、世界最高水準の信頼性、安全性を誇る施設となります。

現在、香港では、10大プロジェクトとして大規模な社会資本整備が進められています。当社は、このプロジェクトに関連する高速鉄道825工区、カイトッククルーズターミナル建設工事のほか、教育施設の建築などの大型工事を施工しています。

今後も、定着したブランドと多様な施工実績を武器に、香港の社会資本整備に貢献できるよう取組んでまいります。

### 香港エリア手持工事マップ ●土木工事 ●建築工事



嶺南大学校舎・寮建設工事  
2011年12月竣工予定



高速鉄道825工区  
2015年5月竣工予定



カイトッククルーズターミナル建設工事  
2013年12月竣工予定



## ●四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前期末 (平成23年3月31日現在)	当第2四半期末 (平成23年9月30日現在)	科 目	前期末 (平成23年3月31日現在)	当第2四半期末 (平成23年9月30日現在)
<b>(資産の部)</b>	<b>286,224</b>	<b>284,633</b>	<b>(負債の部)</b>	<b>225,764</b>	<b>224,108</b>
<b>1</b> 流動資産	199,845	196,237	流動負債	191,376	181,052
現金預金	46,121	55,727	支払手形・工事未払金等	87,419	84,672
受取手形・完成工事未収入金等	107,143	94,333	短期借入金	52,986	49,521
有価証券	1	1	未払法人税等	1,265	1,139
未成工事支出金等	13,577	20,302	未成工事受入金等	25,841	26,494
たな卸不動産	13,707	11,512	引当金	3,968	3,899
未収入金	13,444	9,870	その他	19,894	15,324
その他	7,195	5,634	固定負債	34,387	43,056
貸倒引当金	△1,345	△1,145	長期借入金	25,684	34,116
固定資産	86,379	88,396	再評価に係る繰延税金負債	7,156	7,140
有形固定資産	60,834	63,851	引当金	477	746
土地	41,761	43,571	その他	1,069	1,051
その他(純額)	19,073	20,280	<b>(純資産の部)</b>	<b>60,460</b>	<b>60,524</b>
無形固定資産	622	628	株主資本	55,197	55,555
投資その他の資産	24,922	23,915	資本金	30,449	30,449
投資有価証券	10,795	10,345	資本剰余金	18,386	18,386
その他	22,114	19,505	利益剰余金	6,384	6,741
貸倒引当金	△7,987	△5,935	自己株式	△22	△22
資産合計	286,224	284,633	その他の包括利益累計額	5,255	4,966
			その他有価証券評価差額金	△125	△381
			繰延ヘッジ損益	△7	△1
			土地再評価差額金	5,327	5,305
			為替換算調整勘定	61	44
			少数株主持分	6	3
			負債純資産合計	286,224	284,633

### 1 流動資産

営業キャッシュ・フローの改善などにより現金預金は増加しましたが、受取手形・完成工事未収入金等の減少などにより、前期末に比べ36億円減少しました。

### 2 有利子負債

当第2四半期末は836億円となりましたが、引き続き中期経営計画における最終年度(2013年度)の目標である672億円以下に向けて削減に取り組んでまいります。

●四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	当第2四半期 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)
<b>3 売上高</b>	<b>143,033</b>	<b>145,289</b>
完成工事高	137,034	138,800
開発事業等売上高	5,999	6,489
売上原価	132,475	133,422
完成工事原価	127,050	127,437
開発事業等売上原価	5,424	5,985
売上総利益	10,558	11,866
完成工事総利益	9,983	11,363
開発事業等総利益	574	503
販売費及び一般管理費	7,700	7,233
<b>4 営業利益</b>	<b>2,858</b>	<b>4,633</b>
営業外収益	461	655
<b>5 営業外費用</b>	<b>1,742</b>	<b>1,240</b>
<b>経常利益</b>	<b>1,577</b>	<b>4,048</b>
特別利益	539	73
特別損失	232	435
税金等調整前四半期純利益	1,884	3,685
法人税、住民税及び事業税	851	1,029
法人税等調整額	399	1,752
少数株主損益調整前四半期純利益	633	903
少数株主利益(△損失)	6	△3
<b>6 四半期純利益</b>	<b>627</b>	<b>906</b>

**3 売上高**

海外の売上高は減少しましたが、国内の新規工事を含む手持工事の進捗が想定より進んだことや国内開発事業が増加したことにより、売上高は前年同期と比べ1.6%増加しました。

**4 営業利益**

売上総利益率の改善ならびに一般管理費の削減などにより、営業利益は17億円増加し、46億円になり、営業利益率は1.2ポイント改善し3.2%となりました。

**5 営業外損益**

受取配当金の増加や支払利息の減少により、営業外損益は大幅に改善しました。

**6 四半期純利益**

売上総利益の増加、一般管理費の減少および営業外損益の改善により、四半期純利益は2億円増加し、9億円となりました。

●四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	当第2四半期 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)
<b>7 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>6,229</b>	<b>9,294</b>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,823	△4,494
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,924	4,333
現金及び現金同等物に係る換算差額	166	167
現金及び現金同等物の増加額	6,496	9,300
現金及び現金同等物の期首残高	55,931	45,662
現金及び現金同等物の四半期末残高	<b>62,427</b>	<b>54,963</b>

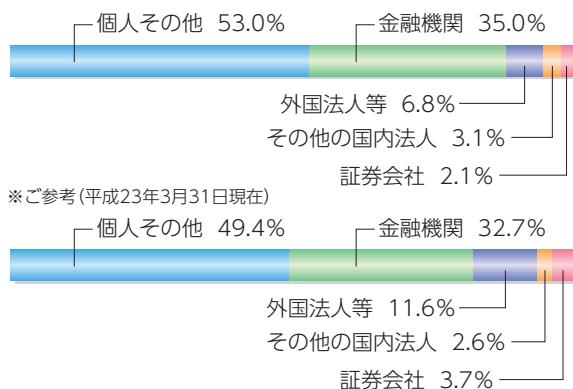
**7 営業活動によるキャッシュ・フロー**

税金等調整前四半期純利益が増加したことや、売上債権の減少などにより、92億円の収入超過となりました。

## 株式の状況

発行可能株式総数……………599,135,000株  
 発行済株式の総数……………286,013,910株  
 株主数……………47,780名

## 所有者別分布状況（株式数）



## 大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	19,333	6.8
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	14,196	5.0
株式会社みずほコーポレート銀行	7,059	2.5
明治安田生命保険相互会社	6,656	2.3
株式会社損害保険ジャパン	6,113	2.1
東京海上日動火災保険株式会社	3,934	1.4
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口9)	3,664	1.3
五洋建設従業員持株会	3,615	1.3
みずほ信託銀行株式会社	3,470	1.2
株式会社広島銀行	2,546	0.9

### 信用格付

平成23年7月11日付で株式会社日本格付研究所(JCR)より、以下の通り格付を取得しました。

長期優先債務格付	BBB+
格付の見通し	安定的
国内CP格付	J-2

### 第1回無担保社債発行について

平成23年5月に発表しました、中期経営計画(2011~2013年度)における経営基盤強化の基本施策に掲げた、資金調達の多様化・安定化の一環として平成23年10月26日に100億円の社債を発行いたしました。

調達した資金は借入金の返済に充当いたします。

今後も市場動向を見ながら柔軟な資金調達を行い、経営基盤の強化を図ります。

社債の種類	無担保社債
社債総額	100億円
利率(年)	1.25%
年限(最終償還)	3年(平成26年10月24日)

## 会社概要

商号	五洋建設株式会社 PENTA-OCEAN CONSTRUCTION CO., LTD.
設立	昭和25年4月28日
資本金	30,449,952,150円
従業員数	2,430人
上場証券取引所	東京・名古屋証券取引所
会計監査人	新日本有限責任監査法人
主な事業概要	当社は建設業法により特定建設業者(特-19)第1150号として国土交通大臣許可を受け、土木・建築ならびにこれらに関連する事業を行っております。また、宅地建物取引業法により宅地建物取引業者(11)第1635号として国土交通大臣の許可を受け、不動産に関する事業を行っております。

## 主要事業所

本店	112-8576	東京都文京区後楽2-2-8	03-3816-7111
札幌支店	060-0005	北海道札幌市中央区北5条西2-5 JRタワーオフィスプラザさっぽろ10F	011-281-5411
東北支店	980-8605	宮城県仙台市青葉区二日町16-20 二日町ホームプラザビル2F	022-221-0932
北陸支店	950-8501	新潟県新潟市中央区東大通1-2-25 北越第一ビルディング5F	025-246-1381
東京建築支店	112-8576	東京都文京区後楽2-2-8	03-3817-7600
東京土木支店	112-8576	東京都文京区後楽2-2-8	03-3817-8890
名古屋支店	460-8614	愛知県名古屋市中区錦3-2-1信愛ビル4F	052-961-6234
大阪支店	530-0012	大阪府大阪市北区芝田2-7-18 オーエックス梅田ビル新館4F	06-6486-2100
中国支店	730-8542	広島県広島市中区上八丁堀4-1 アーバンビューブランドタワー7F	082-511-7900
四国支店	790-0011	愛媛県松山市千舟町4-4-3松山MCビル7F	089-935-5755
九州支店	812-8614	福岡県福岡市博多区博多駅南1-3-11 KDX博多南ビル3F	092-475-5000
技術研究所	329-2746	栃木県那須塩原市四区町1534-1	0287-39-2100

## 海外営業所

シンガポール営業所	マレーシア営業所
香港営業所	エジプト営業所
インドネシア営業所	ベトナム営業所

## 取締役、監査役

代表取締役社長	村重 芳雄
代表取締役	津田 映
取締役	井田 潔志
取締役	近藤 浩右
取締役	滝本 義久
取締役	山下 純男
取締役	佐々木邦彦
取締役	塩谷 慎
常勤監査役	依 輝美
常勤監査役	黒川 薫
常勤監査役	笹野 真民
監査役	亀山 和則

## 執行役員

※ 執行役員社長	村重 芳雄	
※ 執行役員副社長	津田 映	営業担当(兼)安全品質環境担当(兼)事務担当(兼)国際担当
※ 執行役員副社長	井田 潔志	営業担当(兼)安全品質環境担当
※ 専務執行役員	近藤 浩右	土木部門長(兼)土木部門土木営業本部長(兼)技術研究所担当
専務執行役員	岡部 憲一	土木部門担当(兼)総合評価担当
専務執行役員	原田 泰明	東京土木支店長
常務執行役員	中 伸好	建築部門担当
常務執行役員	大内 久夫	土木部門担当
常務執行役員	高野 一男	土木部門担当
※ 常務執行役員	滝本 義久	安全品質環境本部長(兼)総合監査部担当
常務執行役員	齋藤 雅文	建築部門担当
※ 常務執行役員	山下 純男	建築部門長(兼)建築部門建築営業本部長(兼)購買部担当
常務執行役員	河内 政巳	土木部門土木本部長(兼)安全品質環境担当
常務執行役員	伊藤 峰夫	土木部門担当
常務執行役員	柿本 泰二	国際事業本部長
※ 常務執行役員	佐々木邦彦	経営管理本部長(兼)CSR推進室長(兼)人事部担当
常務執行役員	荒木 正美	四国支店長
常務執行役員	都甲 明彦	国際事業本部副本部長(兼)シンガポール営業所長
常務執行役員	北川 隆	土木部門担当
執行役員	西村 清和	東京建築支店副支店長
執行役員	中山 信也	建築部門都市開発本部長(兼)建築部門建築営業本部副本部長
執行役員	中田 隆志	札幌支店長
執行役員	長富 理	中国支店長
執行役員	中澤 貴志	大阪支店長
執行役員	小林 義和	建築部門担当
執行役員	平林 修	土木部門担当
執行役員	柳田 良一	東北支店長
執行役員	坪崎 裕幸	建築部門建築本部長(兼)安全品質環境担当
執行役員	清水 琢三	名古屋支店長
執行役員	清水 豊和	建築部門担当
執行役員	宮園 猛	東京建築支店長
執行役員	下石 誠	九州支店長
執行役員	村山 正純	土木部門担当
執行役員	越智 修	東京土木支店副支店長
執行役員	中満 祐二	東京建築支店副支店長
執行役員	植田 和哉	土木部門土木営業本部副本部長

※印は取締役兼務者です。

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月に開催  
単元株式数 500株  
株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社  
同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社  
本店証券代行部

公告方法 電子公告にて当社のホームページ (<http://www.penta-ocean.co.jp/>) に掲載いたします。ただし、やむをえない理由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。  
剰余金の配当の基準日 毎年3月31日  
証券コード 1893  
なお、中間配当制度は採用しておりません。

### 【単元未満株式の買取制度について】

単元未満株式とは、1単元(500株)に満たない1株から499株までの株式のことです。これらは株式市場で売買することができませんが、当社に対して買取請求をすることができます。

お手続き方法および用紙のご請求は、みずほ信託銀行株式会社(右記電話お問い合わせ先)にお申し出ください。

#### ■(例)株主様が単元未満株式250株をご所有の場合



#### ■手数料の無料化について

従来、当社は単元未満株式の買取にあたり、株主様から一定の手数料をいただておりましたが、2009年1月より無料化いたしました。

### 【特別口座から一般口座への振替手続きについて】

特別口座に記録されている株式を株式市場で売却すること、および特別口座から株式市場を通じて新たに株式を購入することはできません。

株式を株式市場で売買するためには、特別口座から一般口座への振替手続きを行う必要があります。

お手続きの詳細は、みずほ信託銀行株式会社(右記電話お問い合わせ先)にご確認ください。

#### ■振替手続き手順



### 株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

#### 〈証券会社でお取引をされている株主様〉

- 郵便物送付先・電話お問い合わせ先  
お取引のある証券会社になります。

#### 〈特別口座に記録されている株主様〉

- 郵便物送付先  
〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
- 電話お問い合わせ先(フリーダイヤル)

# 0120-288-324

- お取扱店  
みずほ信託銀行株式会社  
全国本支店(トラストラウンジを除く)  
みずほインベスターズ証券株式会社  
全国本支店

※未払配当金のお支払、支払明細発行につきましては、両株主様ともに上記の「特別口座に記録されている株主様」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。

なお、未払配当金のお支払(配当金領収証をお持ちの場合)につきましては、株式会社みずほ銀行 全国本支店でもご利用いただけます。

その先の向こうへ  
GOING FURTHER



〒112-8576 東京都文京区後楽2-2-8

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。



環境に配慮した「植物油インキ」  
を使用しています。